

社内木鶏感想用紙

2025 年 8 月 27 日

8 月号

名前

タイトル: 日常のレベルを上げる生き方

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

冒頭「一冊の本が人生を変える。その本に巡り合えた人は幸せである」という言葉から始まります。

作家浅見帆帆子さんが24歳の時に著したベストセラー「あなたは絶対！運がいい」を読んだ増田

明美さんは、「言い訳をしない」と「愚痴を言わない」という二つのことを実行することで人生が変わら

れたそうです。この二つを実践していくうちに、自身がいかに自己中心的で私の強い人間だったか

がわかり、次第に前向きなエネルギーが湧いてきて、見える景色が変わってきたそうです。

また、浅見さん自身も講演が思うようにいかなかったときに参加者から「今日の講演はよかった」と

言われたり、「関係ない話を長くしちゃったな」と思っても、「その話が面白かった」と言われたり、

そんなことを何度も経験するうちに、忘れて飛ばしたことで「失敗じゃないんだ」と気づいて、

勇気もらったそうです。

私自身も、人前でお話する機会が増えてきましたが、こうしたお二人の対談を読ませていただくことで

些細なことに囚われるのではなくて、「明るさ求めて暗さ見ず」というおおらかな気持ちで取り組んで

いっていいんだと思えました。「とにかく起こることはすべてベストだと捉えれば、引き寄せの法則で

それが現実になっていく」気持ちを楽に面白くハッピーに生きたいと思いました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

共栄塾感想用紙

2025 年 8 月 27 日

8 月号

名前

タイトル: 日常のレベルを上げる生き方

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

子育てをしていて、息子二人といま、どう接していくか考えることが多い。
二人ともサッカーをしているので競技や受験のことで思索する機会も増えている。そんな下りに増田さんと浅見さんのご対談はとても勉強になった。サッカーに対する姿勢のほか、受験や進学に対する親の態度の面でも目から鱗だった。

【競技面】

ワクワクすることをイメージする。イメージを持って、途中経過を楽しむ。子供には、楽しんでいかどうか、どんな選手になりたいか、聞いてみようと思う。

それでいて、いい選手になるためには競技外での生活態度も重要だとおっしゃっている。

- ・目の前のことを一所懸命にやる
- ・礼儀正しく、偉ぶらない

仕事にも共通すると思う。

【勉学面】

浅見さん曰く、親にありがちなのが、サポートしているようでつい本人の足を引っ張ることがあるそうだ。

「ちゃんと勉強しているか、うまくいくのか・・・」

という心配自体が上手いかわからないことを祈っているのと同じなのだと言っている。これには驚いた。浅見さんは、結果に執着しないことを提唱されている。是非参考にして受験を予定している小五の次男に接したい。

日頃理屈ばかり捏ねているので、お二人の前向きで明るい会話にはとても励まされた。

私自身、もっと明るく楽しんで仕事が出来ると思う。お客様に明るい雰囲気をお届けができるよう自分自身も楽しめることを増やしていきたい。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

137 回目

2025 年 8 月 27 日

8 月号

名前

タイトル: 日用心法

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

この記事を読んで、人生をよりよく生きるためには、心の持ち方や、日々の良い生活習慣がとても大切だという事が分かりました。特に明るい心で前向きな考え方をすること、感謝の気持ちを忘れない事が成功や幸せにつながるのだと書かれていました。

例えば稲盛和夫さんは「暗いと失敗する。明るい人が成功する」と書かれています。

また、淀川長治さんは「今日は一度しかない」「毎日ニコニコ生きよう」と言われており

お二人のお考えを知ること、人生の中では楽しい事や辛い事、いやな事など有りますが

朝起きた瞬間から笑顔で「今日も一日を大切に一生懸命生きるぞ」という気持ちを持ち

毎日を生きていかなければいけないという事が分かりました。

他にも、たくさんの成功者の方の言葉が書かれており、その中には他人に感謝する事や

困っている人を助けること、自分に謙虚に生きることなど、人生を良いものにするための

言葉がたくさん書かれています。私はこれらの言葉から毎日の生活の中で、前向きな心や

感謝の気持ちを持ち続け、明るく笑顔で生きていけば、どんな困難や失敗が有ったとしても

自分の努力や心の持ちよう次第で、幸せがつかめるのではないかと思います。

正直、この考え方を常に実践することはとても難しいとは思いますが、今月の致知で学んだ

「日用心法」を心にとめて一つでも多く、一日でも長く実践できるように頑張りたいと思います。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

2025 年 8 月 27 日

8 月号

名前

タイトル: 日用心法

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

日用心法とは、日常生活を送る上で、どのような心の工夫、生活習慣に心がけているかという意味であり、この特集では、心の姿勢、持ち方によって人生を大きく左右することが様々な方々の体験談を通じて紹介されています。

まず、この特集で印象に残ったのは、阪急グループ創業者、小林一三氏の友人の話で、その友人は、成功後も原点を忘れず、昔泊まっていた質素な旅館の部屋で1ヶ月間過ごし、謙虚な心を取り戻すために「厄払い」を行っていたということ。成功してもなお、慢心するのではなく、謙虚と感謝の念を持ち、自らの足元を見つめ直し、そして自分の原点に立ち返るという姿勢には、感銘を受けると同時に、身の回りに感謝し、謙虚であり続けなければならないということを改めて感じました。今回の致知では、「日用心法」という言葉で心の姿勢について学ばせていただきましたが、これからの人生、目の前の一日を丁寧に生き、自分なりの日用心法として、いついかなるときも、謙虚と感謝の気持ちを忘れることなく世のため、人のためになるような生き方をしていきたいと思います。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと
